



より良い将来を築くために

2011コーポレート・シティズンシップ・レポート サマリ

概要

持続可能性、社会的責任、慈善活動、ステewardシップなど、より良い将来を築くためにテキサス・インスツルメンツが行っている取り組みを表す言葉はたくさんありますが、私たちはこのような取り組みをシンプルにコーポレート・シティズンシップと呼んでいます。コーポレート・シティズンシップは、TI が世界各地の社会や環境、および経済に与える影響について責任を負うというコミットメントです。

本書は、2011年度のTIにおける社会的または環境に関する活動の概要をまとめたものです。2011コーポレート・シティズンシップ・レポートの詳細は ti.com/ccr をご覧ください。

TI のコーポレート・シティズンシップ

TIのコーポレート・シティズンシップ・コミットメントは以下の内容にわたっています。

- オペレーション
- 製品に対する責任
- 環境に対する責任
- 従業員の福利厚生
- 地域社会へのコミットメント
- アドボカシー
- コーポレート・ガバナンス

各部門のリーダーで構成されるTIのシティズンシップ戦略チームは、以下のことを行います。

- ・ 弊社のコーポレート・シティズンシップの取り組みに対する戦略、実践、および報告についての方向性を決めます。
- ・ 業務上の課題について検討し、対処します。また、改善につながる計画と目標を定めます。
- ・ 社会および環境に関する活動について、ステークホルダーからの疑問を話し合い、解決します。
- ・ ビジネス部門や地域のオフィスが、多くのステークホルダーにとって重要な課題により効果的に取り組めるよう支援します。
- ・ 持続可能性を重視する社内文化を推進します。
- ・ TIにおけるシティズンシップの基本原則を、変化するビジネスと地域のニーズに対応するよう見直し、更新します。

弊社のシティズンシップの基本原則は、ti.com/citizenship-principles をご覧ください。



受賞および表彰

さまざまな第三者機関によって TI の社会的、環境的活動が認められました。2011 年時点での受賞歴を以下に示します。

- ・ ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（北米）に選ばれました。
- ・ CR マガジンの「100 ベスト・コーポレート・シティズンズ」に選ばれました。
- ・ エシスフィア・インスティテュートの「世界で最も倫理的な企業」に選ばれました。
- ・ フォーチュン誌の「世界で最も賞賛される企業」に選ばれました。
- ・ ニュースウィーク誌の「グリーン企業ランキング」リストに選ばれました。
- ・ CRD アナリティクスが作成し、ジャストミーンズが発行している「世界の持続可能な実績を上げるリーダー 1000 人」に選ばれました。

すべてのリストは ti.com/ccr-awards をご覧ください。

レポートの範囲

TI の詳細なオンライン・シティズンシップ・レポートの作成にあたり、グローバル・レポーティング・イニシアティブ (GRI) のサステナビリティ・レポーティング・ガイドライン (G3) を使用しました。シティズンシップ・レポートは現在第 6 版まで作成されており、GRI の自己評価アプリケーション・レベル A の基準を満たしています。詳細については、ti.com/ccr-griindex をご覧ください。

TI の 2011 コーポレート・シティズンシップ・レポートでは、2011 年度の社会、環境活動の実績について概要をご紹介します。紹介する情報はすべて、世界中の TI の 100% 子会社を対象としており（特に明記しない限り）、2010 年下半期に初めて加わった 3 拠点を含まます。

このレポートには、子会社個々のデータ、またジョイント・ベンチャー、リースしている施設や外部委託事業、および 2011 年下半期に取得したナショナル セミコンダクターの拠点についてのデータは含まれていません。旧ナショナルセミコンダクターの拠点に関する情報は 2012 年に報告する予定です。

「TI」、「弊社」、「私たち」などの用語は TI の事業運営を指し、区別せずに使用しています。通貨はすべて US ドルで表されます。

2011 年度の概要

Revenue by segment

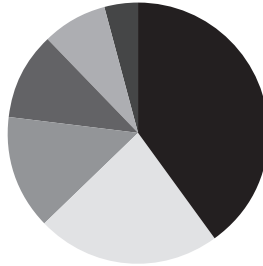
- 47% Analog
- 15% Embedded Processing
- 18% Wireless
- 20% Other



2011 total revenue: \$13.74B

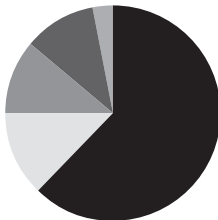
Product revenue by market

- 40% Communications
- 23% Computing
- 14% Industrial
- 11% Consumer electronics
- 8% Automotive
- 4% Education



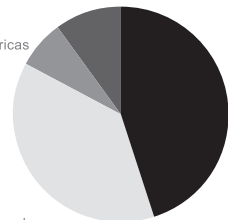
Revenue by region

- 63% Asia
- 13% Europe
- 11% U.S.
- 11% Japan
- 3% Rest of world



Employment by region

- Approximately
- 13,200 in the Americas
 - 11,400 in Asia
 - 2,800 in Europe
 - 2,200 in Japan



2011 total employment:
approximately 29,600 worldwide



最高経営責任者からのご挨拶

テキサス・インスツルメンツにおいて、持続可能性とは絶え間なく続く進化であり、今何をしなければならないのか、明日何を達成するのか、という問いを私たちに投げかけてくるものです。それは弊社の来期の収益報告や予測できない年ごとのさまざまな出来事を超越した道のりです。

この道のりに沿って 2011 年に行った弊社の歩みに何ら変わりはありません。日本で起こった大震災と津波、世界経済の不透明さ、そしてタイで発生した洪水は、弊社の生産、サプライ・チェーン、従業員、そして地域コミュニティに影響を及ぼしました。状況を受け入れながら、準備されていた計画を実行に移し、企業として行った対応と前進に誇りを持っています。

今年、TI はより良い将来を築くために以下のような大幅な改善と投資も行いました。

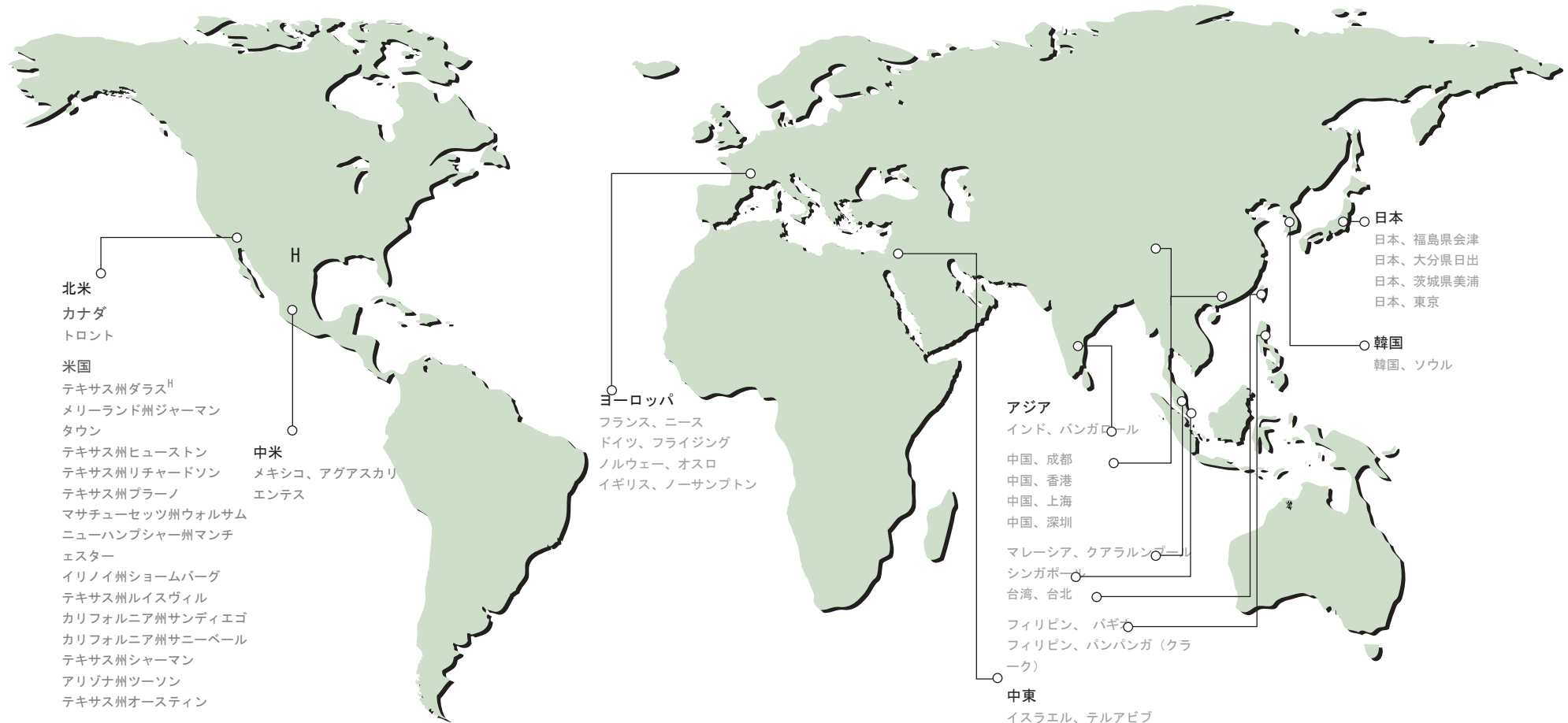
- ・ 134個のエネルギー効率および水保全プロジェクトで光熱費を 860 万ドル削減しました。
- ・ 水 15 億ガロンと、廃棄物の 92% をリサイクルしました。
- ・ より効率的なテクノロジーを目指すモーター・ドライバ・ラボに十分な人材を配置しました。（世界の電力のおよそ 60% はモーターが消費しています）
- ・ 教育の向上と地域コミュニティに 2,220 万ドルを寄付しました。TI および TI 財団は科学技術を専攻する学生の数を増やすために、効果的な理数系教育を目的として 1,460 万ドルを寄付しました。
- ・ 日本の災害救援のため、TI 財団および従業員から約 100 万ドルを寄付しました。
- ・ 倫理、労働慣行、および環境管理について、より弊社の期待に沿っていたらよいサブライヤ向けの新しい環境的責任および社会的責任ポリシーを策定しました。

私たちの目標は今、大いなる準備から結果へと移り変わろうとしています。弊社の 5 年間の持続可能性の目標によって、私たちはトップあたりのエネルギー、水、温室効果ガス排出量を削減する意識を常に持つことができます。

テクノロジーがより良い世界、つまり、よりエキサイティングで、よりインタラクティブで、より人との繋がりを持って、より効率的な世界を作るということ、に揺るぎない信念を持っています。私たちは自らの責任をさらに進化させながら、さまざまな問題を解決する技術の創出をサポートするという役割を果たすことを誓います。

Rich Templeton
会長、社長兼最高経営責任者

TI は世界 35 か国以上に製造、設計、および販売運営拠点を
持っています。



*2011 年下半期のナショナル セミコンダクターの買収により、その他の主要拠点としてカリフォルニア州サンタクララ、メイン州ポートランド、マレーシア・マラッカ、スコットランド・グリノックが加わりました。これらの拠点に関するデータは今後のレポートに記載されます。



会社の運営

2011 年の実績

持続可能性

- ・従業員の安全、化学薬品の使用の低減などの継続的な改善につながる年間目標を設定しました。
- ・従業員に対して、持続可能性とは何か、弊社にどのような意味があるか、達成目標は何か、TI がさらに持続可能な企業になるために各個人にどのような支援ができるかといった内容の教育を行うために、年間を通じた世界的なキャンペーンを立ち上げました。
- ・チップあたりのエネルギー、水、温室効果ガス（GHG）排出量を削減するという弊社の 5 年間の目標に向かって業務を続けました。新施設の増設や生産量の減少（効率に影響）によって各地域での実績は低下しましたが、弊社はベスト・プラクティスを見極めることで大きく前進し、それを TI の世界中の拠点で実施しました。

事業の継続性

- ・3月に日本で発生した地震と津波、タイで発生した洪水による生産やサプライ・チェーンに対する影響を最小限におさえました。TI は最も早く、これらの事象による生産や収益への影響を評価し、お客様と投資家の皆様の両方と情報交換を行った企業の 1 つとなりました。
- ・世界中の弊社のサプライヤを地理的に位置づける、サプライヤ向けのリスク・ソリューション・ポータルを立ち上げました。事業の継続性に対する備えとサプライ・チェーン計画の立案の評価も行いました。
- ・ナショナル セミコンダクターを買収し、その世界規模のサプライヤを利用することで、お客様のニーズを満たすための供給能力をさらに強化しました。
- ・米国のテロ防止のための税関産業界提携プログラムに準拠しているという認定を受けました。

サプライヤに対する責任

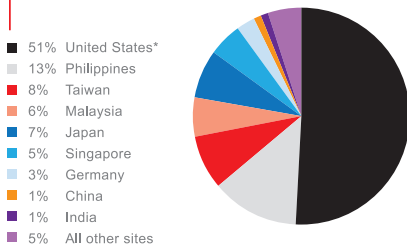
- ・人道的待遇、人権、倫理だけでなく、より厳しい環境管理と実績も含め、弊社の期待により厳密に伝えていただけるよう、サプライヤ向けの新しい環境的責任および社会的責任ポリシーを展開しました。
- ・サプライ・チェーンの評価対象に、労働上および倫理的な商習慣における人権と人道的待遇に関するサプライヤのプログラムと実績も含めるよう拡大しました。弊社の重要なサプライヤの約 200 社を調査した後、TI は 22 ペンダについてより詳細な評価を行いました。深刻な問題は発見されず、軽微な問題は解決済または対処中です。
- ・新しい紛争鉱物の規則に準拠するようプロセスを導入しました。
- ・テキサスの 3 つの組織によって、マイノリティが保有するビジネスの参入機会を促進するビジネス環境を育成している、と認められました。米国内の認定されているマイノリティ所有および女性所有のプライム・サプライヤに、5%（2 億 400 万ドル）を投じました。



2012 年度の計画

- ・ 電子業界 CSR アライアンスに加入します。このアライアンスは、業界トップのエレクトロニクス企業が、企業や傘下の世界的なサプライ・チェーン内部で効率を向上し、社会的、倫理的、環境的な責任を育むために共同で取り組むためのグループです。
- ・ エネルギー、水、GHG 排出量とそれに関連するコストをさらに削減するプロセスに投資します。
- ・ 旧ナショナル セミコンダクターの拠点のリスク評価を行い、それらの施設を TI インシデント管理プログラムに統合します。
- ・ サプライ・チェーンの政治的リスク、運営的リスク、および持続可能性リスクに焦点を当ててリスクを評価する方法を総合的に調査し、これらのリスクの管理方法を改善します。
- ・ サプライヤが弊社の新しい環境的責任および社会的責任の要件と期待を理解し、遵守することをより確実なものにしていきます。
- ・ サプライヤの環境および社会への責任に対するスコアの CETRAQ への統合を開始します。このツールはサプライヤのパフォーマンスをコスト、環境、テクノロジー、応答度、供給の確実性、および品質の点から評価するものです。
- ・ 米国の購買額の少なくとも 5% をマイノリティおよび女性所有のサプライヤに使用します。また、弊社はナショナル セミコンダクターの従来のサプライヤと協働し、認定された多様な企業と取引を行うためのコミットメントへの理解を得る予定です。

Global spend with suppliers*



*Approximately 5 percent of U.S. spend was with diverse suppliers.



製品に対する責任

2011 年の実績

イノベーション

- ・ 研究開発費に対する投資を 1 億 4,500 万ドル増額しました（2010 年の 15 億 7,000 万ドルから増額）。
- ・ 社外向けの TI イノベーション Web サイトを立ち上げ、お客様、投資家の皆様、および将来の従業員に対して弊社の活動の範囲を紹介し、情報交換をしています。
- ・ 中国の大学教育を支援し、電子工学技術者を養成することで中華人民共和国教育部と合意に達し、10 か年の覚書を交わしました。
- ・ 約 20,000 人の学生が TI のグローバル・アナログ・デザイン・コンペティションに参加できるようにしました。
- ・ TI のキルビー・ラボで開発されたテクノロジーから生まれた最初の 2 商品を発表しました。

持続可能な製品設計

- ・ ヨーロッパでデータ通信可能な携帯電話の共通の充電器を開発するための合意を形成する支援を行いました。これにより、年間およそ 51,000 トンの電気電子機器廃棄物が削減できます。
- ・ 世界で初めてのカラー画面搭載グラフ電卓、TI-Nspire CX を発表しました。再充電可能な電池を搭載しているため、駆動時間が延び、使い捨て電池が不要になりました。
- ・ より効率的なテクノロジーを目指し、モーター・ドライバ・ラボに十分な人材を配置しました（世界の電力のおよそ 60% はモーターが消費しています）。
- ・ お客様に新しい LED 電球を開発していただけるようになりました。この電球の消費電力は 7 ワットで、明るさは 400 ルーメン、想定寿命は 25 年です。



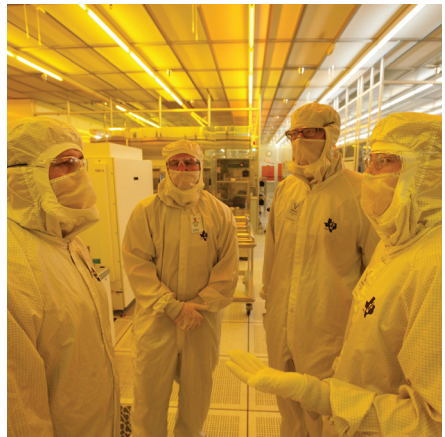


持続可能な製造

- ・出荷している半導体製品のうち 90% を超える製品が「TI グリーン」と認められています（業界要件である低ハロゲンを満たしている商品もあります）。
- ・新しい PowerStack™ パッケージ・テクノロジーを公開しました。このテクノロジーは、基本的に半導体チップを垂直に積み重ね、基板面積を半分まで削減できる独自の 3D ソリューションです。このため、全体のエネルギーと冷却コストを低減でき、よりパワフルでその上効率的に動作する、さらに小型の電子機器を製造できます。
- ・教育用テクノロジーの小売包装を改良し、これらに含まれるポリ塩化ビニルの量を 50% 削減しました。
- ・教育用テクノロジー製品において、水銀を 5 ppm 以上含むバッテリーの組み込みを中止しました。
- ・変化の激しい製造関連法規制を注視し、適切な標準や認証にすべて確実に準拠しました。
- ・米国、マレーシア、およびスコットランド内の旧ナショナル セミコンダクターの製造拠点でさらなる製造管理の評価と実施を開始しました。

2012 年度の計画

- ・新しい研究開発センターを中国の上海に開設し、シリコン・バレー・ラボをカリフォルニア州サンタクララに開設します。
- ・TI の収益のうち少なくとも 12% を研究開発プログラムに投じます。
- ・ユーティリティーメーター、ホーム/ビル・オートメーション、スマート・グリッド・インフラストラクチャ・テクノロジー分野のポートフォリオを拡充します。





環境への責任

2011 年の実績

大気環境

- ・古い機器の使用を中止し、高度な燃焼技術と除外装置を利用することによって亜酸化窒素排出量を削減しました。
- ・冷却装置資産の 20% を廃棄することで、フロンガス冷却剤の漏出率を 7.27% から 4.8% に低減しました。

生物多様性

- ・生物多様性評価を実施し、弊社の業務運営が生物多様性の高い地域に影響を及ぼさないことを確認しました。

気候変動

- ・2015 年までにチップあたりの GHG 排出量を 30% 削減する（2010 年基準）という目標を設定しました。
- ・2020 年までにシリコン・ウェハの面積あたりの GHG 排出量を 30% 削減する（2010 年基準）という目標を設定し、世界の産業界に加わりました。
- ・米国環境保護庁の調整規則、および燃焼発生源からの GHG 排出量の報告義務を遵守しました。
- ・232 万トンの二酸化炭素相当量（MMTC02e）の二酸化炭素を排出しました。TI の業務運営が拡大するに伴いエネルギー使用が増大したため、2010 年と比較して排出量が 18% 増加しました。

エネルギー利用

- ・効率化プロジェクトを通して年間のエネルギーコストを 710 万ドル削減しました。
- ・テキサスの拠点で使用する電力の 10% は風力発電からの電力としました。全世界では、電力の 5% をグリーン電力証書制度から、16% を水力発電所から購入しました。
- ・運用の拡大により、全世界でのエネルギー使用量は 2010 年から 8% 増加しました（1,070 万英熱量または 31 億 2,300 万キロワット時）。しかし、TI は半導体チップの設計、販売、および製造に必要なエネルギー量を 2005 年から 33% 削減しています。

交通システム

- ・製品ディストリビューション・センターを中国の上海に開設しました。このセンターによって輸送コストを低減し、アジア太平洋のお客様に対し迅速に製品を配送することができます。
- ・TI の年に一度の「自転車通勤の日」への参加が 2 倍になり、大気に排出する二酸化炭素を 5,820 ポンド削減しました。
- ・テキサス北部で保有している車両のうち、古い 8 台の車両をより効率の良いものに置き換え、そのうち 1 台をハイブリッド車にしました。



水利用

- ・ 効率化プロジェクトを実施し、約 4 億 6,700 万ガロンの水と 150 万ドルを節約しました。
- ・ 15 億ガロンの水を再利用しました。これはオリンピックで使用される規模の水泳プール 2,273 杯分に匹敵します。
- ・ 新規施設を数か所開設したため、世界全体の水使用量合計が 21% 増加しました。
- ・ 会社全体で最も画期的な水削減およびリサイクル・プロジェクトを特定し、世界中へこの手法の適用を開始しました。

廃棄物管理

- ・ 年間の廃棄物効率（リサイクル）は 92% でした。
- ・ 廃ウェハーを再利用することにより、7,166 キログラム（約 8 トン）のシリコン・ウェハーを廃棄せずに済みました。
- ・ TI のノース・テキサス・キャンパス内で有機物リサイクルを過去 4 年間にわたって 155% 以上に増やしました。

調達

- ・ 購入した直接材料（弊社の最終製品に含まれる半導体製造に利用）を効率的に使用する方法の評価を始めました。

持続可能な拠点

- ・ 006 年から行ってきた効率化への投資によって、弊社の光熱費（電気、水など）を約 3,100 万ドル削減しました。
- ・ いくつかのテキサスの拠点で作業スペースを統合し、より省エネ効果のある窓と照明により 250,000 平方フィートの空間を改築しました。

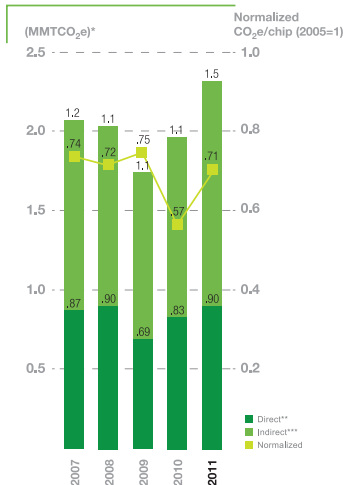




2012 年度の計画

- ・ エネルギー削減プロジェクトを実施することによって光熱費を 600 万ドル削減します。
- ・ TI のグローバル・ディストリビューション・センター、輸送業者、および戦略を総合的に分析し、コストと効率化のチャンス特定します。
- ・ 旧ナショナル セミコンダクターの施設の環境的実績を評価し、設備投資の優先度を決め、建築用敷地を統合します。
- ・ TI の古く効率の悪い 2 工場の削減に着手し、より効率の良い拠点への生産の移行を開始します。
- ・ 全体の廃棄物効率（リサイクル効率）を 95% に引き上げます。
- ・ 製造拠点での化学薬品の使用を 3% 削減します。
- ・ 世界中に通動プログラムを広げ、参加を促進します。
- ・ 国際自然保護連合のレッド・リストの精査を続け、動植物種への潜在的なリスクを理解し、TI の業務運営による影響が発生しないよう保証します。
- ・ 既存の GHG 排出量規制を準拠し続け、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクトへの報告を続けます。
- ・ 直接材料の購入と生産要求を監視し続け、資源利用効率を詳しく把握します。

Carbon footprint



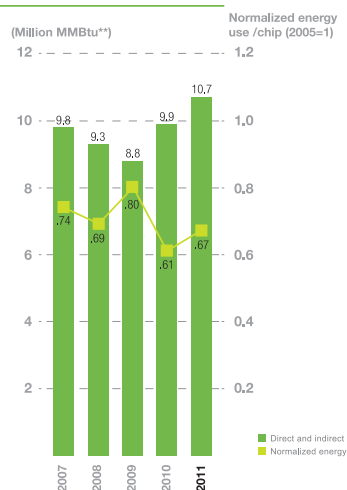
*Million metric tons equivalent carbon dioxide (MMTCO₂e) is a unit of measure for GHGs. Emission totals are from global TI manufacturing sites only.

**Direct (scope 1) emissions include carbon dioxide (CO₂), methane (CH₄), nitrous oxide (N₂O), hydrofluorocarbons, perfluorocarbons, sulphur hexafluoride and nitrogen trifluoride

***Indirect (scope 2) emissions include CO₂, CH₄ and N₂O.

TI discovered an inaccuracy in a specific data set of U.S. fab performance information. Based on this information, TI has updated its direct GHG emissions for 2011, which result in a 2.6 percent increase in TI's total carbon footprint published in May 2012.

Total energy use*

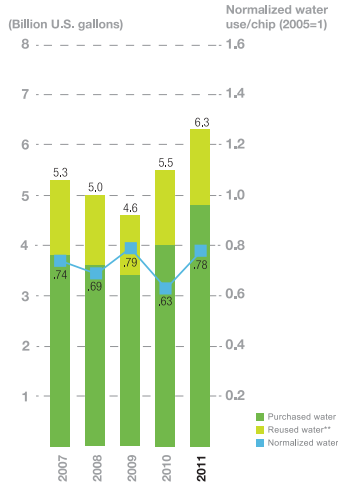


*The total of all energy resources consumed by TI (direct and indirect). Total energy use increased due to the continued ramp-up of two manufacturing facilities and an assembly/test site as well as decreased efficiency in operations that were underloaded, including two facilities in Japan impacted by the March 2011 earthquake. The total also includes indirect energy consumed by our onsite gases supplier at our Dallas north campus.

**Million metric British thermal units (MMBtu) is a measurement denoting the amount of heat energy in fuels.



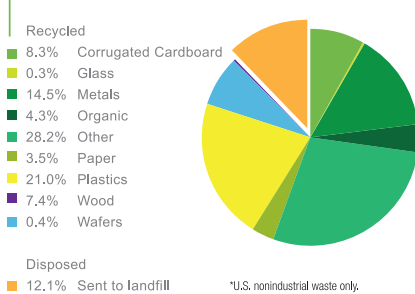
Total water use*



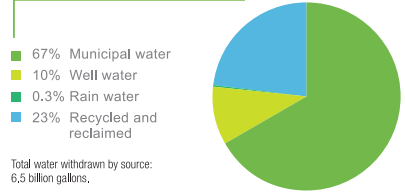
*Water obtained from local utilities and on-site wells. This does not include used once-through cooling water, water pumped from on-site wells at our Freising, Germany site for heat rejection, which is returned to the same aquifer.

**TI reclaimed and recycled 23% of total water use in 2011.

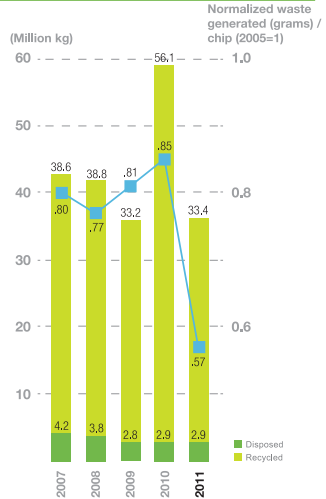
Waste by type*



Water sources



Total waste



TI recycled 92% of its total waste worldwide.



従業員の福利厚生

2011 年の実績

安全

- ・米国の半導体産業の中で最も良い安全率を達成しました。米国半導体工業会によると、要記録労働災害発生率は全体の中でも最も低く、就業時間の制限が生じた災害発生件数も最も低くなっています。
- ・勤務中の要記録負傷率を従業員 100 人につき 0.19 まで低減し、弊社の目標である 0.20 を上回りました。休業および仕事に制限が生じた日数は 2010 年の 0.13 から 0.085 に減少しました。
- ・残念なことに、装置の誤動作によって業務に関連して 1 人の方が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表します。
- ・新しい健康と安全の指標管理システムを開発しました。このシステムは潜在的なリスクを早期に共有し、対応するのに役立つと考えています。
- ・コンピュータ・ワークステーションに対して 2,264 回を超える人間工学的評価を実施しました。

健康

- ・医療貯蓄口座などの定額控除の大きい保険制度を導入しました。TI は従業員 1 人につき 500 ドル、1 家族につき 1,000 ドルを支援しています。
- ・従業員を支援する弁護士サービスを新しい福利厚生として設立しました。
- ・「着色料の公開」キャンペーンは従業員が健康的な食物を識別することを支援する啓発キャンペーンです。
- ・およそ 550 人の従業員と扶養家族が、弊社の個人健康管理サービスを利用できるようになりました。TI は医療コストを回避することによって、このプログラムの投資収益率が約 275% になると予測しています。

ワーク・ライフ・バランス

- ・3,100 人を超える米国の従業員にサービスを提供し、プレゼントの購入や、パーティーの計画、その他の用事を済ませるなど、9,200 回以上の要望に応えました。そのため、従業員の時間を節約でき、勤務時間中の職場からの外出を減らすことができました。
- ・ワーキング・マザー・マガジンの「ワーキング・マザーに適した企業ベスト 100」に 16 年連続で選ばれました。
- ・約 19,000 人の従業員とその家族が、弊社の関連するダラス内の芸術・文化組織との提携の一環として、交響楽団のコンサート、演劇、博物館、庭園、および動物園を利用できるようになりました。
- ・社員の 60% が在宅勤務できるようになりました。このグループのうち、およそ 77% が少なくとも月に 1 回は在宅勤務をしています。



給与と福利厚生

- ・幅広い福利厚生を従業員に認識してもらうため、Perks@TI Web サイトを立ち上げました。
- ・TI および旧ナショナル セミコンダクターの拠点で、給与と福利厚生の拠点レベルの比較を行い、それらが競争力のある市場慣行に基づいていることを確認しました。
- ・給料を上げ、利益配当の 17.3% を支払いました。
- ・米国の従業員の約 95% が退職貯蓄制度に加入できるようになりました。
- ・従業員の 401 (k) 貯蓄プランに 5,500 万ドルを支援しました。

多様性と包括性

- ・ヒューマン・ライツ・キャンペーン財団の「男性同性愛者、女性同性愛者、両性愛者、および性転換者の平等という観点から最も働きやすい職場」に選ばれました。
- ・全米女性企業家協会の「女性重役に適した米国企業トップ 50」に選ばれました。
- ・カタリストおよびダイバーシティ・コンソーシアムのメンバーと共に大規模なジェンダー・シンポジウムを後援しました。Rich Templeton はそのイベントで女性従業員の育成に焦点を置いた基調演説を行いました。
- ・「違いを超えたフィードバック」ワークショップを実施し、400 人を超える米国の従業員が参加しました。

採用

- ・ナショナル セミコンダクターの買収により 5,000 人を超える新従業員を迎え、オリエンテーションを行いました。
- ・全世界で約 3,200 人の新従業員を雇用しました。およそ 40% は女性で、米国で新しく雇用された従業員のうち 48% はエスニック・マイノリティーでした。全世界で大学新卒採用も 75% 増加しています。
- ・成績優秀な 200 人の大学新卒者に対して、情熱を見つけ、やりがいのあるプロジェクトで実践的な経験を積み、グローバル・ローテーション・プログラムを通して業界のリーダーに個別に指導を受けながら常勤で働く機会を提供しました。

勤続

- ・米国議会の小委員会で科学、技術、工学、および数学の上級学位を持つ米国の大学卒業者を保持するために最適な方法を証言しました。
- ・社員のおよそ 48% が弊社に 10 年以上勤務しています。また 21% は TI に 20 年以上勤務しています。世界全体の弊社社員の平均在職期間は 12 年です。
- ・自己都合の離職は少し増え、6.5% でした。

人権

- ・2010 年に成立した「サプライチェーンの透明化に関するカリフォルニア州法」を遵守しました。この法律は、企業に自社のサプライ・チェーンで奴隷制度と人身売買を撲滅するための努力に関して報告を求めるものです。
- ・}重要なサプライヤーの人権、倫理基準、および労務実績を評価しました。
- ・従業員と請負業者が提訴した 5 件の差別に関する申し立ては問題なく解決されました。
- ・先住民族、強制労働、児童労働、結社と団体交渉の自由の侵害など、人権侵害に関する紛争はありませんでした。
- ・中国で工場長と会談し、TI の人権基準を融合させる方法を確認し、追加の関連トレーニングを行いました。



能力開発

- ・能力レビュー・プロセスを通過した従業員に、個人に合わせた個別のリーダーシップ育成機会を提供しました。
- ・TI のテクニカル・リーダーへ 220 人の従業員を選出し、昇進させました。これは評判の企業制度で、非常に優れた技術的貢献やリーダーシップを認め、表彰し、奨励するものです。
- ・従業員 1 人あたり 35 時間を超えるトレーニングを行いました。
- ・新しい Learn@TI チャンネルを公開し、世界中の TI の従業員に的を絞ったコンテンツを提供しました。このチャンネルには総合的な学習と能力開発の資料が公開されており、業務上の問題解決や、技術的スキルおよび専門的スキルの構築に利用できます。この 1 年間で 19,000 人近くのユニーク・ユーザーが Learn@TI を訪れました。
- ・合計 220 万ドルの教育費を返還し、455 人の従業員の教育をさらに支援しました。

評価

- ・2010 年と比較して、1 年間に専門的な貢献を果たしたと認められた従業員に対する表彰の平均値が増加しました。

参画

- ・社内のニュース・ポータルである Infolink のデザイン、ナビゲーション、コンテンツ構成を改良しました。従業員のビジットが 270% 増加しました。
- ・ローカル・ポータルを立ち上げ、ヨーロッパ、中東、アジア、インド、および中国の TI 拠点が、現地に特化した情報を投稿したり、母語でグローバル・コンテンツを再利用したりできるようになりました。
- ・Infolink に旧ナショナル セミコンダクター社員向けの統合サイトを開設し、具体的な情報を検索したり、質問の答えを得たり、弊社のチームについて学習したりする場所について説明しました。
- ・従業員委員会と従業員コミュニケーション・フォーラムから寄せられたフィードバックを統合し、コミュニケーション・プログラムを強化しました。
- ・ソーシャル・メディアを活用し、3 月の震災で被害を受けた日本 TI の拠点で、従業員にとって重要な情報を交換しました。これにより、災害時に情報を双方向で迅速に処理できました。



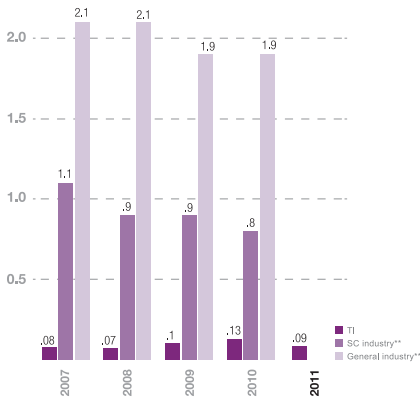
2012 年度の計画

- ・新しい健康と安全の指標管理システムを開発します。このシステムは潜在的なリスクを早期に共有し、対応するのに役立つと考えています。
- ・休業および仕事に制限が生じた日数の割合を 0.08 以下とし、勤務中の用記録負傷率が 0.20 を下回るようにします。
- ・12-12-12 キャンペーンを立ち上げ、従業員が 1 日のうち 12 分間を健康的な活動またはリラックスできる活動（エクササイズ、ヨガ、読書など）に費やすか、12 か月で 12 ポンド減量すること、あるいはその両方を奨励します。
- ・米国の拠点で現場での健康診断プログラムを提供します。
- ・グローバル・インターン/生協プログラムを発展させ、将来のニーズに適合するように大学新卒者の雇用を増やします。
- ・将来の技術者ニーズに適合するように、中国での複数年の雇用計画をサポートする基盤を構築します。
- ・営業、アプリケーション、製造管理、製品/テスト、および財務・運営のグローバル・ローテーション・トレーニング・プログラムを拡大します。
- ・有能なリーダー組織を構築し、重要な任務に対する対応力を評価します。
- ・旧ナショナル セミコンダクターの拠点を訪問し、人権ポリシー、報告プロセス、トレーニングの需要を評価します。



Lost/restricted day cases*

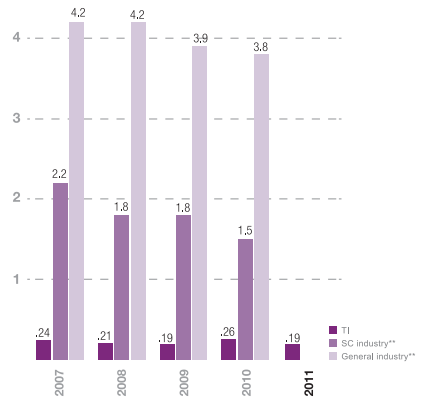
(Cases per 100 employees)
2.5



*Work-related injury (rate per 100 employee-years) that results in days away from work, restricted work activity and/or job transfer.

Recordable injury cases*

(Cases per 100 employees)
5

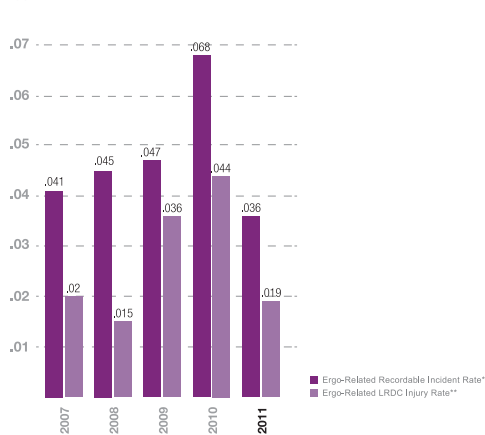


*Work-related injury (rate per 100 employee-years) that requires treatment beyond first aid or results in lost time or restricted job duties for one or more workers as defined by the U.S. Occupational Safety and Health Administration.

**Industry data provided by the U.S. Occupational Health and Safety Administration and the Bureau of Labor Statistics. Statistics represent U.S. performance only. Semiconductor and general industry data for 2011 were not available at the time of report development.

Ergonomics-related cases

(Cases per 100 employees)



*Recordable ergonomics-related injuries decreased by 92% from 1999 to 2011.

**Lost/restricted day case ergonomics-related injuries decreased by 95% from 1999 to 2011.



地域へのコミットメント

2011 年の実績

寄付

- ・ 企業基金から 2,220 万ドルを寄付し、数多くの機関、プログラム、および慈善事業を支援しました。このうち、1,200 万ドルは TI 財団の支援のために送られました。TI 財団は年末までに 1,080 万ドルの助成金とマッチング・ギフトを提供しました。
- ・ TI および TI 財団は、芸術と文化のグループやプログラムの支援に 226 万ドルを投資しました。
- ・ TI 財団、従業員、および退職者はコミュニティの末永い発展を願って 490 万ドルをユニテッド・ウェイに提供しました。さらに、TI および TI 財団は約 190 万ドルをその他の保健福祉プログラムに寄付しました。
- ・ 米国赤十字の東日本大震災および太平洋津波基金に賛同し、TI 財団、従業員、退職者を通して約 100 万ドルを寄付しました。これは 3 月に日本を襲った地震と津波を支援する目的で設立されたものです。
- ・ ナショナル セミコンダクター財団を、TI コミュニティ基金と改名しました。科学、技術、工学、および数学 (STEM) 教育を向上し、TI が拠点を置くコミュニティの重要なニーズに全世界で対応するために利用されます。

教育

- ・ TI および TI 財団は、STEM を担当する教師を育成し、技術系社員となる大卒者の数を増やすことに関連した学生向けのプログラムを支援する目的で、1,460 万ドルを寄付しました。
- ・ 100 万ドルの「STEM 教育の力」構想を TI コミュニティ基金を通して発表し、STEM 分野において学生の成果と教師の有効性を向上させるために共同助成金を提供することを 4 か所の新しい TI 拠点であるカリフォルニア、メイン、スコットランド、およびマレーシアで告知しました。
- ・ TI の教育用テクノロジーの取り組みを通して、教育専門家にサポートを提供しました。
- ・ 中国四川省南部県の 30 校の学校と、20 校の学校図書館にマルチメディア教室を設置し、資金を提供しました。南部県は中国で最も貧困な地域の 1 つです。



ボランティア活動

- ・ 従業員が 35,201 時間 (75 万ドル以上相当) をコミュニティ組織のボランティア活動にあてることができました。
- ・ 記録されている米国でのボランティア活動時間が 12% 増加しました。
- ・ TI 創設者コミュニティ・サービス賞プログラムをインドに拡大しました。米国とインドで合計で 7 人の個人と 3 組のチームがコミュニティを発展させたと認められました。
- ・ ボランティア活動への注力に対して授与されたユナイテッド・ウェイ・オブ・メトロポリタン・ダラスのトレンドセッター賞など、企業と従業員のコミュニティへの参加が地域で幅広く認知されました。

参画

- ・ 社会および環境に関してステークホルダーが最も重視する疑問や問題点を学習しました。具体的には、サプライ・チェーン・マネジメント (特に紛争鉱物や労働慣行)、世界規模の自然災害に対する事業の継続性への備え、そして気候変動管理、水利用、エネルギー利用、再生可能エネルギーなどの環境的な影響に関連した課題などです。
- ・ お客様との社会的な関わりが増え、弊社の E2E エンジニア・コミュニティの登録メンバーがわずか 3 年で 75,000 人以上になりました。
- ・ 26,000 人以上のお客様に対して対面トレーニングを実施し、111,000 回以上 (60% 増加) のオンライン・テクニカル・コースを提供しました。

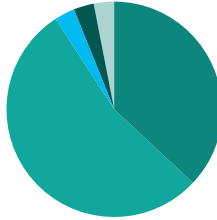
2012 年度の計画

- ・ TI 財団のボランティア・インセンティブ・プログラムを導入します。このプログラムは米国の従業員または退職者のボランティアの時間と適格な組織への寄付金を一致させるものです。
- ・ 対象となる TI 拠点に、より強固なボランティア・プログラムの構築を支援するためのトレーニングおよびサポートを提供します。
- ・ コミュニティ大使プログラムを米国の他の拠点に拡大します。
- ・ TI 創設者コミュニティ・サービス賞を全世界に拡大します。
- ・ 近年、ナショナル セミコンダクターの買収で取得した 4 か所のコミュニティで STEM 教育に対する TI のサポートを拡大し、利用します。
- ・ 教室テクノロジーを通して、学生と教育者に STEM の知見を広め、統合し、豊かにし続けます。
- ・ 中国青少年発展基金を通して、中国四川省南部県の TI プロジェクト・ホープ・スクールに資金を提供します。
- ・ STEM の教育機会を模索するために、少女が参加でき、教育を促進するプログラムをノースイースト・テキサスのガール・スカウトを発表します。
- ・ 新しいコーポレート・ブログである Around TI を正式に立ち上げ、TI の革新と事業運営が世界に与える影響について詳しい情報を提供します。



Corporate giving by type

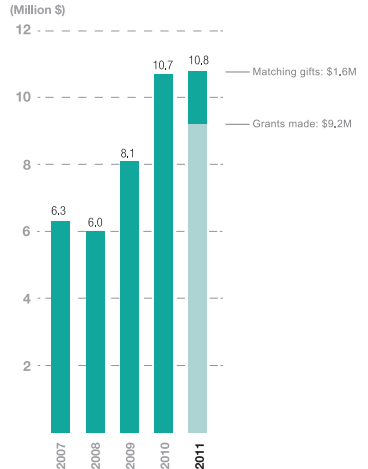
- 37% Education
- 54% TI Foundation contribution*
- 3% Health and human services
- 3% Arts and culture
- 3% Civic and business



2011 TI corporate contributions worldwide: \$22.2 million

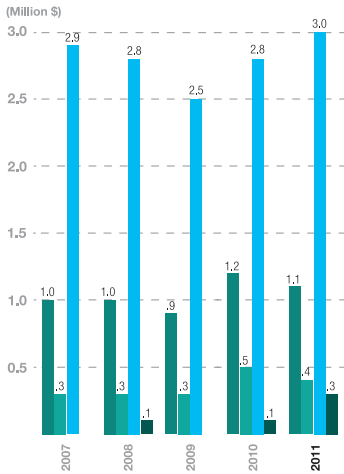
*TI gives an annual donation to the TI Foundation. In 2011, TI contributed \$12 million. The TI Foundation funded \$10.8 million in programs through grants and matching gifts.

TI Foundation giving*



*Includes grants to eligible organizations, in addition to employee matched contributions.

Employee giving



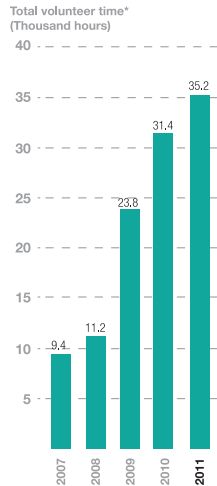
- Education*
- Arts and culture*
- Health and human services (United Way and others)
- Disaster relief**

*Giving tracked through the U.S.-based TI Foundation matching gifts program.

**Includes employee gifts in support of domestic and international disaster relief efforts but does not include value of employee volunteer hours.

This does not include a 2010 TI Foundation gift of \$200,000 given for relief efforts in Haiti and 2011 gift of more than \$428,000 for relief efforts in Japan.

Volunteerism



*These are estimates based on select, corporate-sponsored volunteer activities only.



アドボカシー

2011 年の実績

- ・ 研究案件、米国の偽造防止法、米国の特許法、貿易協定、およびクリーンなエネルギー効率化政策への対応を推奨し、保護しました。
- ・ ロビー活動と資金調達について説明を行い、適切に開示することを確実に行い続けました。
- ・ 雇用に基づくビザの国ごとの上限を廃止する法律に対応しました。
- ・ 上級学位を持つ教育水準の高い外国人専門家に影響を与える米国の移民政策の改正を支持しました。

2012 年度の計画

- ・ 特に現在 TI が存在感を大きく高めているカリフォルニア、メイン、およびスコットランドで、政策立案者との協力関係を築いて強化し続けます。
- ・ TI 製品にとって公正で競争力のある環境を確保し、倫理的なサプライヤおよびパートナーであるという企業の評価を高めるよう推進します。





コーポレート・ガバナンス

2011 年の実績

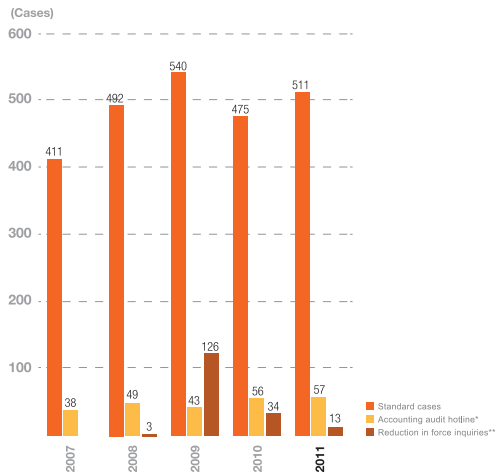
- ・ 弊社の取締役会を退任した David Boren と David Goode（それぞれ 16 年と 15 年以上勤務）に謝意を伝えました。ライダー・システムの代表取締役で最高業務執行責任者の Robert Sanchez を新しいメンバーとして迎えました。
- ・ 旧ナショナル セミコンダクターの従業員が倫理的で合法的な行動を求める弊社の基準と期待を理解し受け入れられるように取り組みを始めました。
- ・ 環境、労働、人権に関する法律を遵守していないことによる重大な事故は発生せず、重大な罰金を科せられることはありませんでした。収賄や汚職の疑いに関して申し立てはありませんでした。
- ・ 99.2% の従業員にエシックスとコンプライアンスの啓発トレーニングを実施しました。弊社の上位 130 人のマネージャのうち、100% がトレーニングを修了しました。

2012 年度の計画

トレーニング:

- ・ 世界中のすべての TI の従業員にエシックスのトレーニングを実施し、すべての定額給従業員に輸出管理の基礎のトレーニングを実施します。
- ・ 特定の従業員に対して、連邦海外腐敗行為防止法およびその他の汚職防止のテーマに関するトレーニングを実施します。
- ・ 製造現場以外に勤務しているすべての米国の従業員に環境、安全、および健康のトレーニングを実施します。

Ethics office inquiries and contacts*



*None of the inquiries or contacts presented an accounting issue or appeared to pose a material financial risk.

**Submitted through the accounting audit hotline.

テキサス・インスツルメンツのコーポレート・シティズンシップは従業員から始まり、皆さんによって強化されます。ご意見やご質問は citizenshipreportfeedback@list.ti.comまでお寄せください。

年間を通して最新情報を www.ti.com/citizenshipで公開しています。



本社
12500 TI Boulevard
Dallas, TX 75243
www.ti.com

本書にはリスクや不確定要素を含む将来の予想に関する記述が含まれています。この記述は予測と大きくかけ離れた結果となる可能性があります。この「将来の予測」（TIの期待、計画、意図、目標など）は1995年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図しています。事業運営の将来の業績に大きく影響するリスクや不確定要素についての詳細は、TIの最新の年次報告書をご覧ください。将来の予測に関する記述に対し、本書発行以後に進展した結果を更新する意思や義務はないものとします。

platform bar はテキサス・インスツルメンツの商標です。その他の商標および登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。

© Texas Instruments Incorporated 2012